

# 2012 北信越かがやき総体



君は今希望とともに  
緑の大地を駆けぬける

## ヨット競技開催!



高校生最大のスポーツの祭典「全国高等学校体育大会」が和倉温泉で開催されます。全国各地の予選を勝ち抜いた男女計110艇のヨットが七尾湾で熱戦を繰り広げます。皆さん、ぜひ観戦に来てください!



■期間 **8月1日(水)～8月5日(日)**

- ・開会式 8月1日(水) 9:00～
- ・競技 8月2日(木)～5日(日) 10:00～
- ・閉会式 8月5日(日) 15:30から

■場所 **和倉温泉運動公園ヨットハーバー**

※駐車場は潮の香広場(美湾荘向い)と和倉温泉観光会館をご利用ください。

### 間近でヨットレースを見ませんか?

観覧艇(先着30人)に乗り、海上から観戦ができます!また、船内では海上の状況を解説します!

- ・日時 8月2日(木)～8月4日(土)  
午前の部 10:30～12:00  
(受付 9:30～先着順)
- 午前の部 13:30～15:00  
(受付 12:30～先着順)
- 8月5日(日)  
午前の部 9:30～11:00  
(受付 8:30～先着順)

・乗船料 無料

■ミナ. クル1階パブリックスペースに、カウントダウンボードとヨットが展示してありますので、ご覧ください。

■レースの状況を海上から生中継!  
会場に大型モニターを設置し、レースの様子をアナウンスとともに生中継!

■岸よりのコース設定!

フィニッシュライン(ゴール)を海岸近くに設定します。ゴールする瞬間をお楽しみください!



問 生涯学習スポーツ課 市民スポーツ振興室  
☎53-3661



# 七色の旅

私たちが住む七尾にある観光資源を再認識しようという企画『七色の旅』。第9回目のテーマは、皆さんもご存知『石崎奉燈祭』です。

## 能登のキリコの代表格「石崎奉燈祭」 勇壮豪快・乱舞競演する男の祭り

### 能登半島のキリコ祭り

能登半島の夏は祭り一色に染まっています。豪華絢爛に飾られた巨大なキリコ燈籠が乱舞するキリコ祭りは、7月初旬の「宇出津 あばれ祭り」を皮切りに、3カ月間、能登半島の全域で行われています。

キリコとは「切り燈籠」を縮めた略称で、キリコが神輿のお供をしながら道中を照らし、神様を守りながら乱舞する祭りといわれています。

その歴史は笹に御神燈をつけた笹キリコに始まり、数人で運ぶ4本柱の竹キリコ、木製キリコへと発展し、装飾などを競い合うようになりました。江戸中期以降から高さ10メートルを超えるキリコが出現したといわれています。

能登半島に存在するキリコ燈籠の数は約800基。150カ所におよぶ地域や神社に納められています。高さ12メートルのキリコ燈籠を100人以上で担ぐ祭りや50本を越すキリコ燈籠を連ねる祭り、高価な漆を使い美しく飾られたものなど、独自の特長を出し、それぞれの地域が祭りを誇りに感じています。

### 漁師町 七尾市石崎町

七尾市石崎町は、昔気質が残る活気にあふれる漁師町。

石崎奉燈祭は、石崎八幡神社の納涼祭（お涼み）が度重なる大火の原因で、明治22年、網すき（網大工）の口添えで、奥能登から古い「キリコ」を移入して始まりました。大火以前のお涼みは祇園系の山車だったといわれています。

能登に数多く点在するキリコ祭りは、京都祇園祭の流れをくむものであり、石崎奉燈祭も平成7年まで京都祇園社の例祭日にあたる旧暦6月15日に行っていました。

祭り当日、どこからともなく聞こえる祭ばやしが祭り気分を盛り上げます。ねじり鉢巻きに地下足袋を履き、きつく締めたサラシにお守りを携えた男たちとそれを見守る女たち。町中には「サツカサイ、サカサツサイ、イヤサカサイ」と、奉燈が威勢のいい掛け声の響き渡る中で練り歩く様はまさに圧巻。なにしろ1基を約100人で担ぎ、その統

制ぶりも見事。

サツカサイ、サカサツサイ、イヤサカサイの組み合わせで、「サカ」は「栄」を、「いやさか（弥栄）」を意味しているともいわれています。

掛け声に調子を合わせ、高まる熱気のまま奉燈が乱舞競演します。宵の色が町を濃く染めると奉燈に灯が入られます。大文字や裏の武者絵が浮き出され、幻想的な美しさが夜空に映えたと再び乱舞が繰り返され、担ぎ手や観客の興奮は最高潮に達します。さらに、支部長の笛の合図で勇壮豪快、一糸乱れぬ集団美の見事さは、見る者を興奮のつぼと化し、深夜まで男の祭りが続きます。

海の男たちが年に一度、熱い血潮をたぎらせる祭りが石崎奉燈祭なのです。

### 石崎奉燈祭

開催日 8月4日（土）

場所 石崎町地内

七尾市観光協会 ☎53-8424